

# 3 三ツ境地区 地域福祉保健計画

## 1 地区の概況

- ・ 相鉄線三ツ境駅周辺の地域で、区役所などの公共機関が隣接しています。歴史の長い商店街があり、その周辺に住宅地が広がっています。
- ・ 駅の周辺に単身者用マンションが多く、区平均と比べて単身世帯の割合が高くなっており、その約4分の1が65才以上の高齢者です。
- ・ 区平均に比べ民間借家の比率が高くなっているのも特徴です。



## 2 第1期で取り組んだ主な活動や事業

### プラン1 防犯ステーションを中心にした取組

防犯ステーションを拠点としてボランティア中心に月2回のパトロールを実施してきました。予算上の関係で平成21年度で防犯ステーション自体が廃止となりましたが、パトロールは続いています。

### プラン2 たまり場づくり

「サロン・ほっと三ツ境」「カラオケ同好会」を定着させることができています。

### プラン3 老人会の加入を柔軟に

老人会のない自治会も三ツ境地区にはありますが、希望者はどこの老人会にも加入できるようになりました。

### 現在の取組を拡充しよう

第1期に関しては既存の活動を基盤に様々な活動を行ってきました。三ツ境地区社会福祉協議会で実施されている取組は「木曜の会（配食）」、「このは昼食会（高齢者食事会）」、「子育て ほんわかサロン」など、活発に活動しています。



サロン・ほっと三ツ境の様子



ウォーキング会の様子

## 3 第2期計画に向けての課題

### 地域ができる見守り体制

自治会の加入率が低く単身高齢者の割合が高い三ツ境地区では、地域でできる見守り体制について検討が必要です。

### 「見守り」の計画への位置付け

三ツ境地区の地域福祉保健計画に「見守り」を位置づけることがまず必要だと考えました。

### 見守り検討の場づくり

地域でできる見守りがどういうものか具体的に考える場として各種団体の代表メンバーで構成される検討委員会を立ち上げることにしました。見守り検討委員会を立ち上げることで、様々な意見を取り込み見守りに対する共通認識を持つことが必要です。

### 地域のたまり場づくり

「サロン・ほっと三ツ境」等だけでなく、地域の北部の人も参加しやすいよう、もう1か所駅近くに誰もが参加できるたまり場が必要です。

### 担い手不足について

地域には地域の活動に興味を持っている人はたくさんいます。その人たちに参加してもらうことが必要です。

## 4 推進母体

三ツ境地区地域福祉保健計画推進委員会

(三ツ境地区社会福祉協議会、三ツ境地区民生委員児童委員協議会、三ツ境連合自治会など)

## 5 第2期計画の取組内容

### 地区別計画への姿勢

連合自治会 と 地区社会福祉協議会、各種団体の連携  
民生委員児童委員・保健活動推進員  
友愛活動員・ボランティア・他

より充実させよう！

### 第2期の重点実施プラン

#### ◎プラン1 見守り体制の構築 (小さな単位での見守り取組)

まずは小さな単位での見守りとして、隣近所の見守りから始めよう！  
(新聞・電気・雨戸などの確認)  
見守り検討委員会で検討された見守り体制を実践していこう！

#### ◎プラン2 ネットワークづくり

動き出した自治会に連絡会をつくり、モデルケースとして情報交換を行い、配食会や健康づくりに集まる人の情報の共有化を図り、それがよければ連合全地区に取組を広げよう！  
防災活動に関して、地域のボランティアと連携しネットワーク作りを広げよう！

#### 【見守り検討委員会の立ち上げ】

平成22年10月に見守り検討委員会を組織。地区社会福祉協議会を中心に、連合自治会、民生委員、主任児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、老人クラブなどの代表が参加し、見守り体制について検討します。  
また、各戸配布での広報を行っていきます。

### 地区の活動

#### 防災等

- ・まちの防災知恵袋
- ・定期訪問活動  
(民生委員、保健活動推進員、友愛活動員)

#### サロン

- ・ほっと三ツ境
- ・カラオケ同好会
- ・ほんわかサロン  
(子育て)
- ・健康マージャン教室

#### その他

- ・木曜の会 (配食)
- ・このは会  
(高齢者食事会)
- ・健康ウォーキング  
(健康づくり)

#### イベント

- ・さとまつり
- ・灯籠まつり